

公法研究 2015年 10月号

日本公法学会

公法研究

第七十七号

司法制度改革後の公法判例と公法學説

憲法判例の展開……	市川正人……	1
——司法制度改革以降を中心に——		
司法制度改革後における行政法判例の展開……	村上裕章……	26
——理論の過剰と過少——		
憲法判例の現状と憲法學説の課題……	小山昭……	50
司法制度改革後の行政法學説の課題……	常岡孝好……	73
公法判例の現在		
不起立訴訟と憲法二二条……	鎌川恒正……	97
鎌川報告に対するコメント……	市川須美子……	105
婚外子法定相続分規定違憲決定……	大石和彦……	107
地方公共団体の規律維持と債権放棄議決の意義……	徳本広孝……	118
——行政法総論からみた債権放棄議決——		
老齢加算訴訟……	豊島明子……	130
——生存権の具体的実現に係る裁量統制の課題——		
豊島報告に対するコメント……	西村枝美……	141
第一部会 討論要旨……		143
公法判例活性化に向けた課題と展望		
行政事件における訴訟要件の意義（水平的統制のみ）……	野武志……	158
仲野報告に対するコメント……	菅原真……	170
行政事件訴訟における判断過程の統制……	深澤龍一郎……	172
——その基礎的考察——		
立法裁量統制の意義と限界……	宮地基……	184
判決の効力……	巻美久紀……	196
巻報告に対するコメント……	大貫裕之……	208
第二部会 討論要旨……		210
公著論文		
強制処分法定主義の憲法的意義……	山田哲史……	225
学界展望		
憲法……	榎塚康江／松本和彦／渡辺東行……	235
行政法……	青井一成／神崎一彦／横田光平……	269
学会記事・他		

有斐閣

2015

発売日: 2015年10月29日

出版: 有斐閣

PDF

